教育の広場

池田知隆

・紙芝居屋さんから見た子ども社

て「紙芝居ルネッサンス」を呼び掛けている鍼灸師、鈴木常勝さんは、そういっ大阪市内の街角や公園で紙芝居を続けて感するひとときを大切に味わいたい――いながら「生きるって楽しいね!」と共いながら「生きるって楽しいね!」と共いをがら「生きるか出会う場所」紙芝居は「大人と子どもが出会う場所」

あった。版)を読むと、そこには多くのヒントが別「保育に生かす紙芝居」(かもがわ出だろうか。鈴木さんから送られてきた新ちにどのようにかかわっていけばいいのいる。いま、地域の中で大人は子どもたいる。いま、地域の中で大人は子どもた



町

海の恵み にがりを残した

※ 伯方 な。 は、輸入天日海塩と海水を原料に使用しています。

〒790-0813 愛媛県松山市萱町4丁目4-9 TEL(089)911-4140(代) FAX(089)923-9671 ホームページ http://www.hakatanoshio.co.jp 築の一つだ。それよりも、境内には、 年に再建され、大阪府内では古い木造建 の陣(1615年)で焼失し、1661 野区の全興(せんこう)寺にやってくる。 高野山真言宗のこの寺の本堂は、大阪夏 おっちゃん』としての活動歴はもうかれ 非常勤講師も務めている。〝紙芝居屋の 立命館大、愛知大などで「紙芝居」論の だ。鍼灸師をしながら街頭紙芝居を続け、 これ35年になる。 毎月第4日曜日の午後には、大阪市平

をくれます」 「やんちゃな子どもたちがいつもパワー

47年10月、愛知県生まれの団塊の世代

にこやかにそう語る鈴木さんは、

19

として知られている。野の音博物館」があり、「おもろい寺」博物館」や「駄菓子屋さん博物館」「平並みの歴史文化を体感できる「町ぐるみ

り!」となる。
所を回り、「紙芝居のはじまり、はじまチ、カチ、カチ」と拍子木を鳴らして近チ、カチ、カチ」と拍子木を鳴らして近

円にしとくわ」「100万円、でもきょうだけ100「おっちゃん、水あめ、いくら?」

と、 とりよの木陰に集まった子どもたちと果まれ合って遊ぶのは楽しいものですましながら、目前で繰り広げられる物語に子どもたちのにぎやかな歓声がわいた。 「街頭紙芝居のいいところは、街角にに子どもたちのにぎやかな歓声がわいた。」とり半の木陰に集まった子どもたちとしノキの木陰に集まった子どもたちと

路上劇場の可能性

当本さんは愛知県吉良町の出身。父親は左官で、6人兄弟の末っ子だった。4次学部に入学、中国文学を専攻した。魯文学部に入学、中国文学を専攻した。魯太が好きで、仲間と読書会を開く一方、成が好きで、仲間と読書会を開く一方、は変知県吉良町の出身。父親は左官で、6人兄弟の末っ子だった。4

ばの被差別部落の子ども会に通った。大ながら、機動隊を導入して学生を排除した教授たち。その二枚舌を知り、教師になる気がすっかりなくなりました」。といいで学生を話し合って解決する、といい「学生と話し合って解決する、といい

定されていた。

学には7年在籍し、最終年度にアルバイ学には7年在籍し、最終年度にアルバイリタは、大道芸でもある。語る紙芝居の世界は、大道芸でもある。語る紙芝居の世界は、大道芸でもある。語る紙芝居の世界は、大道芸でもある。

鈴木さんは、

①子ども相手の商売だから「児童福

て、路地を走るから「交通法規」
③紙芝居の舞台を自転車の荷台に乗せ生」

の3課目のテストに合格し、府条例に

そのとき、24歳だった。よる「街頭紙芝居業者免許証」を得た。

のパワーに圧倒され続けました」発想もあったけど、実際には子どもたち発想もあったけど、実際には子どもたち子木を鳴らして紙芝居ができる。子ども子へを鳴らして紙芝居ができる。子ども

でされの世界。 街角の芸人になりきって子どもたちと 東剣に向き合った。手描きの紙芝居の絵 を見せて、怖い話、おもしろい話、悲し い話を語った。そのストーリーも外国怪 の、西部劇もの、SFもの、母もの ま劇、日本昔話など百花繚乱、なんでも でもの芸人になりきって子どもたちと

攻めまくる。で見据える。子どもたちは情け容赦なくで見据える。子どもたちは情け容赦なくがキ大将がニコリともせず、冷たい目「兄ちゃん、女の声で、やってえなあ」

「話し方、迫力ないわ!」

「もっと気分だしてしゃべれ!」

ではない、と本能的に感じている。い心」だけで世の中が成り立っているのもたちは学校で習う「美しい話」「優し的」と親や教師から非難されても、子ど的」と親や教師から非難されても、子どれっぱなし。街頭紙芝居は「俗悪」わんぱく坊主やおしゃべり娘にかき回

筋の先読みを他の子どもに得意げに言っい』と叫び、鈴木さんがしゃべる前に、「街頭紙芝居で『こんなの、ありえな-

「子どもこらは、悪人が高矣、」、金どもたちから必ず指摘される。たりする。語りのまずさ、言い違いは子

りたがっている。その世界と対抗する力銭欲が渦巻く『大人の世界』をもっと知

生き生きしています」だからハナタレたちの紙芝居への劇評はいし、ホントウを見抜く目を持っている。ている。子どもはタテマエでは納得しなをどう養っていくのか、と心の奥で感じ

紙芝居は低俗か

中には、こんなくだりがあった。りあげるか、にかかっている。その本の気をいかになごませ、楽しい空間をつく紙芝居屋の腕の見せ所は、その場の空

紙芝居の最後の楽しみは、クイズ。景紙芝居の最後の楽しみは、クイズ。景

をだすぞ。 では、今日は即興の「記憶力クイズ」

カッパのママは、おっぱいりっぱ。さあ、「カッパのパパは、やっぱりカッパ。私の顔を見つめる子どもたちの熱い視ら、お菓子をプレゼント!」

覚えた子ぉは誰や?」

į

前に浮かぶ。
前に浮かぶ。

「夕日はなぜ赤いのでしょう?」
「夕日はなぜ赤いのでしょう?」

ント。 に出会ったら、気前よくお菓子をプレゼ 幼児が元気に言うこんな「ご名答!」

×

は、テレビが普及し、子どもたちの、大人と子どもたちのたるうか。 「紙芝居の内容が低俗でダメ!」といって非難する教育者や児童文学者も現れたで非難する教育者や児童文学者も現れたが、本当にそうなのだろうか。街角からが、本当にそうなのだろうか。街角から紙がですからである。 といって非難する教育者や児童文学者も現れたが、本当にそうなのだろうか。 が、本当にそうなのだろうか。 が、本当にそうなのだろうか。 が、本当にそうなのだろうか。 が、本当にそうなのだろうか。 が、本当にそうなのだろうか。 が、本当にそうなのだろうか。 といっておきないいのだろう

地域の教育とは

る〉というより、絵を通して子どもたちなる。完成品である絵の世界を〈伝達す紙芝居は、本の「読み聞かせ」とは異

木さんはいう。ので、子どもあっての紙芝居なのだと鈴と相互交流しながら<創造していく>も



聞き、物語に引き込まれる。じ手の顔を交互に見ながら肉声の語りをがら肉声で語る。子どもたちは、絵と演演じ手は、絵とお客の顔を交互に見な

けてきた」
あったからこそ、私は紙芝居をずっと続紙芝居の場を包み込む――その楽しさが

子どものときにそんな笑い声が共鳴す子どもたちがあふれている、という。ふがし、今では、街頭紙芝居屋の前には、がし、今では、街頭紙芝居屋の前には、がし、今では、街頭紙芝居屋の前には、かし、今では、街頭紙芝居屋の前には、かし、今では、街頭紙芝居屋の前には、かし、今では、街頭紙芝居屋の前には、子どものときにそんな笑い声が共鳴す子どものときにそんな笑い声が共鳴す

>

「花咲かじじいがパーッとまいている子どもたちに聞いてみました。「花咲かじじい」の紙芝居をする前に、

よく答えます。と言い、別の子どもは「肥料!」と元気と言い、別の子どもはずぐさま「花のタネ!」

ものは、なに?」

「ゴマ!」と答える子がいて、思わず「ゴマ!」と答える子がいて、思わずですっているのでしょう。

す。「浦島太郎の行く所は?」と問いかけ

す。 しかし、次の回答でのけぞってしまいまここまでは今の子どもも知っています。 「りゅうぐうじょう」

話やで」
「織姫・牽牛(ひこぼし)は天の川の「樴姫・牽牛(ひこぼし)は天の川の「樴姫!」と元気な声が返ってくる。「ベロー」と一気な声が返ってくる。「では竜宮城にいる姫の名は?」

-ろか? ううん、海底に竹やぶなんぞ、あった「かぐや姫」と得意げに答える子。

と思ってしまう今日この頃です。「浦島太郎はヨーロッパの話だったのか!」またまたズッコケてします。でも一瞬、またまたズッコケでします。でも一瞬、

もどこかにあったほうがいい。からというないで、ストレスを発散させるところがえつけられてしまっているようなこと子どもたちが、ふだんの学校教育の場で、子どもたちが、ふだんの学校教育の場で、

ボール』をするためにこそ、紙芝居、クげ返す――。そんな『楽しさのキャッチ気になり、大人も元気を子どもたちに投子どもたちのパワーを受けて、大人も元ちをすっきりすること、請け合いです。「そうすれば、子どもも、大人も気持

ば遊びがある」
イズ、遊びうた、遊戯、悪口うた、こと

ネッサンス」の狙いだが、鈴木さんの紙よみがえらせようというのが「紙芝居ルよひと昔前の子ども世界」を現代風に

芝居をめぐる視野は、地理的にも歴史的



アジア各地でも上演

し、社会教育活動に従事した。だが、現 場から事務職に異動になったため退職。 を間、専門学校に通って鍼灸師の資格を で間、専門学校に通って鍼灸師の資格を で間、専門学校に通って鍼灸師の資格を はいら事務職に異動になったため退職。

本の紙芝居を上演した。中国には街頭紙その中国の路地裏でも、鈴木さんは日

を は場で上演し、すぐにかけつけた警察官 に追い払われたこともある。 で追い払われたこともある。 で追い払われたこともある。 でおいなく、物珍しそうに子どもたちが

のセリフを子どもたちはその場で直してようにはじけるし、たどたどしい中国語んぱく坊主の話をすると、笑いが爆竹の通です。学校をさぼろうとする日本のわ「子どもがいたずら好きなのは万国共

した」

られていた。

さらに中国大陸各地から台湾、ネパーさらに中国大陸各地から台湾、ネパーさらに中国大陸各地から台湾、ネパーさらに中国大陸各地から台湾、ネパーさらに中国大陸各地から台湾、ネパーさらに中国大陸各地から台湾、ネパーさらに中国大陸各地から台湾、ネパーさらに中国大陸各地から台湾、ネパー

「軍国の母と戦地の兵士が家族愛で固



です」動の源を探るのがわたしのいまのテーマいか、と驚かされるものもある。その感はとても効果的です。おお!傑作ではなく結ばれた、お涙ちょうだいのストーリー

居の世界や歴史を語る大学の教師になっのを断念したはずなのに、いまでは紙芝居」を上演している。歴史の教師になる大学の教壇でも学生相手に「国策紙芝

たのだ。

極めたいのです」『聖戦万歳』になるからくりを学生と見対』だった知識人が戦争に突入すると、い』という観点で見せている。『戦争反い』という観点で見せているの『戦争反い」という結論を押し付けるのでは

を考える役割を果たしている。そこでは紙芝居が世代間をつなぐ文化

第三の大人

最近、街頭紙芝居を見たがる子どもの最近、街頭紙芝居を見たがる子どもに伝えるのは、きれいごととして子どもに伝えるのは、きれいごととして子どもに伝えるのは、きれいごととして子どもに伝えるのは、きれいごととのように、物語として、またお笑いとするのように、物語として、またお笑いとして子どもに語りかける方法を見つけなくてはならない。

かもしれませんね」「<赤ちゃん返り>と同じようなこと

動で試してくる。

の大人」のような人たちがたくさんいた。親でもない、学校の先生でもない「第三がらせの行動に出たのでしょう」がらせの行動に出たのでしょう」がらせの行動に出たのでしょう」がらせの行動に出たのでしょう」がらせい行もらえるとおもってわざと嫌が場所だからこそ、彼らは注目を浴び、

その人たちには、親にも先生にも言えないことを言うことができた。隣のおじいかったり、自転車屋のおじさんであったり、自転車屋のおじさんであったり、自転車屋のおじさんであったりしたその人は、そばにいるだけで、たりしたその人は、そばにいるだけで、たりしたその人は、親にも先生にも言えないことを言うことができた。隣のおじいいことを言うことができた。隣のおじいいことを言うことができた。

る、と鈴木さんは言う。の魂みたいなものは受け継ぐことができ、紙芝居が街頭から消えて久しいが、そ

「大人と子どもがちゃんと出会い、笑い声が響きあう街をつくっていきたい。りかけていくのか、真剣に考えてほしい。りかけていくのか、真剣に考えてほしい。『怪人二十面相』になるのは無理にしても、職場の顔、家庭の顔の他に、地域のも、職場の顔、家庭の顔の他に、地域のも、職場の顔、家庭の顔の他に、地域のも、職場の顔をもつ怪人三面相には誰でもなれますよ。変身してみませんか、真剣に対している。

がきているようだ。どもたちと向き合わなくてならないときいま、地域に生きる大人としてそんな子で勝負」できるかどうか、見つめている。子どもたちは大人に向かって「ホンネ

毎日新聞論説委員)



教育の広場

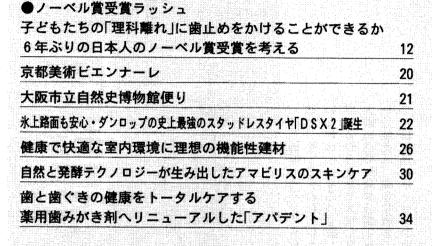
		IC						
		居						

1

NEWS ROTARY

2008

12
CONTENTS





REGULARS		
女性ホルモンの	D神秘と効用	18
獣医師は、なも	が、動物の言葉がわかるの?―――――	-19
あのときこんな		 39
回虫博士の世界	『漫遊紀行─ウンコの健康学①────	-44
たかが われら	が日々?	-48
なまずのひとり		-51
どれみの鼻歌-		-54
どこで憩うかー	-温泉おいしい湯宿名旅館	57
食と健康		- 60
京都は優雅―	――町家―坪庭・出格子・おくどさん――――	63
LIBRARY		66
12月の運勢――		69
編集後記		7 0
	***	***